

Weekly Report

2011～2012年度



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

平成24年4月24日(火)

第1624回例会

会長 中島 眞一

幹事 佐藤 進

会報 中村 和広

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブの
のちのちの未来は、
地元の有る様にかたは
こゝ多岐上はのちの
に思ふれ器出でこそ
知る化の波により増え
され少くもなりは
それこそ知事とそ
ちこそ成す
小の路にそそぎ
清風はそよよ
清純な乙せを感
せよとてある
昭和五十五年春吉日
大友

第1624回例会記録 平成24年4月24日(火) 38/46回

<点鐘>

中島眞一会長

<幹事報告>

佐藤幹事

*文書着 川崎日吉RC 川崎中央RC

<ソング> 我等の生業

<ニコニコ委員会>

古澤委員長

<会長報告>

中島眞一会長

中島眞一会長→「やっという季節になりました」。
佐藤幹事→「いい天気になりました。28日、BBQ楽
しみです」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤
亨会員、安藤志子会員、井上久会員、井上勇会員、
阿久澤会員、北島会員、小塚会員、内藤会員、中島
健児会員、中村会員、野島会員、大矢会員、尾崎会
員、佐々木会員、関山会員、嶋会員、鈴木会員、玉
井会員、田内会員、寺尾会員、碓井会員、渡邊会員、
山崎会員、結城会員、古澤会員。

1. 2011～12年度青少年交換学生近況報告・2012～13
年度派遣学生オリエンテーション開催の件

5/12(土) 14:00～16:00 ブリーズベイホテル
横浜・桜木町駅前

当日はレポートを持参するように、またショート
スピーチがありますので、安藤志子会員は矢崎さ
んに連絡してください。

2. 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)

2012総合プログラム発行について
協賛しました広告が載っております。

*オープニングご招待

4/28(土) 13:30(開演14:00) 昭和音楽大学

*オープニングパーティー 4/28(土) 17:30～

<出席委員会>

鈴木委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1624回	43*	32	11		74.42%
第1623回	43*	36	7	3	90.70%

*出席免除会員2



<ロータリー財団>

井上勇委員長

ポリオの寄付として、4,100円/1人を5月末まで
お願いいたします。

- 第1626回 5月15日 家族会 夜会
- 第1627回 5月22日 招聘卓話
- 第1628回 5月29日 クラブフォーラム

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	27件	27,000円	973件	1,117,245円
財団	0件	0円	23件	220,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	156,000円
米山	0件	0円	32件	403,000円

本日のプログラム

<クラブ協議会>

■本年度市民救命士講習開催について 碓井会員

この講習は麻生区内の広域避難場所に指定されている公立中学8校の約3,600名全員に、市民救命士の資格を取得させ災害時には防災機関と連携し、普段の生活の中でも活用できる少年の育成を目的としています。当クラブと市民救命士の関わりは、平成12年10月に入会した守田博会員が「麻生区は若者の町というけれど、東日本大震災のように昼間に災害が起こったら大変なことになる」と麻生区の人口と防災について話をしたことがきっかけです。私は自分の経験からも彼の提案する、中学校は広域避難場所にもなっているし、中学生は土地の子が多いので彼らの力を借り、救急救命士の資格を与えて高齢者や身障者の手助けをしてもらおう、というものに賛同しクラブの対応を決めてきました。講習内容としては体育館に生徒を集め、1時間ほど防災組織や災害時の傷病の初期対応などを学科で、休憩を挟みながら特別な人形とAEDを利用し2時間ほど実地訓練を行います。1人3時間以上を学校で教える時間を取るのなかなか難しい様で、各中学校ともに苦慮されているようです。講習の連絡は消防署が担ってくれるので何も必要ないですが講習にかかるテキストやマスクの代金を、こちらからお願いし、いざという時に助ける側の中学生に負担させるのはどうかと思い、これらはクラブで負担することになっています。今年度は地区からの助成金もあり助かっています。今年度は柿生中学校で6/8頃に200名程度の参加で実施予定です。



■35周年記念式典

渡邊副実行委員長

『35周年記念例会』の様な名称で、会員に費用負担ができるだけかからないように行う事を基本とします。30周年の実績から概算し150名ほどの参加を見込み、それに基づき案を作成しました。実行済として、第2530地区(福島県郡山)への震災見舞金は式典でも報告いたします。詳しい事業案についてはポストインさせていただきましたのでご覧ください。

